



## 「第6次インドネシア人漁業実習生」が豊岡市へ ～実習生の技術・技能修得と地元漁業の活性化のために～

市では、平成19年に第1次インドネシア人漁業研修生を受け入れて以来毎年、研修・実習生（実習生）を受け入れてきた。

今回の第6次では12人の受け入れを行い、実習生は今後3年間、沖合底曳網漁業の研修および技能実習に励む。

### 1 目的

外国人漁業実習生の受け入れを通じ、漁業の国際化に対応した国際貢献を行うとともに本市漁業の活性化を図る

### 2 事業概要

「外国人漁業研修制度」を活用し、平成19年度に豊岡市が第1次受入機関となり、但馬漁協協同組合津居山支所の取りまとめで、底曳網漁業の船主が第2次受入機関となり、研修生2人の受け入れを行った。

制度改正により、平成23年度から、実習生の受入が自治体から但馬漁業協同組合に移行したが、同組合津居山支所にて事業を継承され、第5次、今回の第6次実習生の受け入れとなっている。

実習生は、日本海でのズワイガニ漁やホタルイカ漁など、底曳網漁業の最新で高度な漁業技術を習得する。また、資源管理とつくり育てる漁業についても学ぶ。

### 3 受入実績

インドネシア人漁業研修生（実習生） 受入状況

年度	第 次	人数	研修期間	状況
H19	第1次 研修・実習生	2 人	H19.8 ~ H22.7	H22.7. 帰国
H20	第2次 研修・実習生	5 人	H20.8 ~ H23.7	H23.7. 帰国
H21	第3次 研修・実習生	10 人	H21.8 ~ H24.7	H24.7. 帰国
H22	第4次 研修・実習生	6 人	H22.7 ~ H25.7	3年目
H23	第5次 実習生	6 人	H23.7 ~ H26.7	2年目
H24	第6次 実習生	12 人	H24.7 ~ H27.7	1年目
延べ人数		41 人		

### 4 現在の受入漁船の状況

（平成24年7月末現在）

底曳網漁船名	研修生（経験年）				計	合計
	3年目	2年目	1年目	1年目		
第三天祐丸	3年目	3年目	2年目	1年目	4 人	24 人
第二大和丸	3年目	1年目	-	-	2 人	
千鳥丸	3年目	3年目	-	-	2 人	
かみかぜ丸	3年目	2年目	-	-	2 人	
幸生丸	2年目	2年目	1年目	1年目	4 人	
祇園丸	2年目	1年目	-	-	2 人	
龍太丸	2年目	-	-	-	1 人	
美津生丸	1年目	-	-	-	1 人	
吉野丸	1年目	1年目	-	-	2 人	
第五天祐丸	1年目	1年目	-	-	2 人	
祥雲丸	1年目	1年目	-	-	2 人	

津居山漁協の底曳網漁船総数は16隻。実習生の年齢は20～32歳



## 5 第6次研修生の予定

### (1) 豊岡市長表敬訪問

日時 8月3日(金)午前10時

場所 東庁舎別館 2階会議室

訪問者

ディディ サプトロさん、テディ イスカンダルさん、パンジ リヤトナさん、  
ミフタフディンさん、イマン スギマンさん、ムハammad ファルルディンさん、  
アクマド ジュナエディさん、エンクス クスナディさん、アンデシア デ  
ィナスティ プトラ ペルタマさん、モハマド カエロンさん、ムハammad  
ソディグさん、ヌル ファイス コリアンさん 計 12人

### (2) 漁業技能実習開始

9月1日(土)

7月20日(金)に入国・豊岡市に到着し、7月23日から但馬漁業協同組合  
津居山支所で日本語、交通法規などの講習を受けている。

## 《参考》

### 外国人漁業研修制度

外務省などの外郭団体・国際研修協力機構(JITCO、東京都)が窓口となり、  
平成5年からスタート。研修期間は1年。船主の家や漁協が準備した施設で生活し  
ながら、最初の3か月間は日本語や漁法を学び、その後乗船実習を行う。

研修後、技能評価試験に合格すれば、船主と雇用契約を結び、技能実習生として  
滞在(当初は最長2年間。制度改正により、平成23年度からは最長3年間)し、学  
ぶ。

[問合せ]豊岡市コウノトリ共生部農林水産課 0796-23-1127